

日本発達障害支援システム学会 2016年度 研究大会・研究セミナー

＝ 発表論文集 ＝

＝ 大会テーマ ＝

自閉症スペクトラムの医療と教育 － 新たな展開 －

- 平成 28 年 12 月 11 日 (日) 12:00～17:00
- 大正大学 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1

主催:日本発達障害支援システム学会
2016 年研究セミナー・研究大会実行委員会

ご挨拶

メインテーマ

「自閉症スペクトラムの医療と教育 ー新たな展開ー」

このたび、日本発達障害支援システム学会第15回研究セミナー／研究大会を、大正大学（東京都豊島区）を会場として開催する運びとなりました。ひとえにご参加下さる皆様のお力添えの賜物と厚く御礼申し上げます。本学は、今年度創立90周年を迎え、現在6学部（仏教・文・表現・人間・心理社会・地域創生）と3研究科が設置され、四宗派が共同して運営する大学です。

今回の研究セミナーのメインテーマには、「自閉症スペクトラムの医療と教育ー新たな展開ー」を掲げました。実行委員会では、2つの教育講演を企画しております。教育講演Ⅰは、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授でおられる近藤直司先生に、児童・思春期精神科医療に関わるASD児への実践・研究についてご講演頂きます。教育講演Ⅱは、横浜国立大学教育人間科学部特別支援教育講座教授でおられる渡部匡隆先生に、ASD児への教育支援についてご講演頂きます。

また、例年通り、研究発表では5つの分科会における口頭発表と、ポスター発表の場を設けました。参加者の皆様が、多彩な領域における様々な発表にふれ、充実した研究交流が行われること、そして、新たな発見が得られる大会となりますことを期待しております。

年末ご多忙の折ではございますが、おばあちゃんのお宿として有名な巣鴨地藏通商店街や、本学に建立された鴨台さざえ堂にお立ち寄り頂き、大正大学にお越し下されば幸甚です。皆様を心からお迎え申し上げます。

2016年12月

日本発達障害支援システム学会
第15回研究セミナー／研究大会準備委員会
実行委員長 三浦 巧也

会場へのご案内

大正大学 巣鴨校舎

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1

■交通案内

電車ご利用の場合

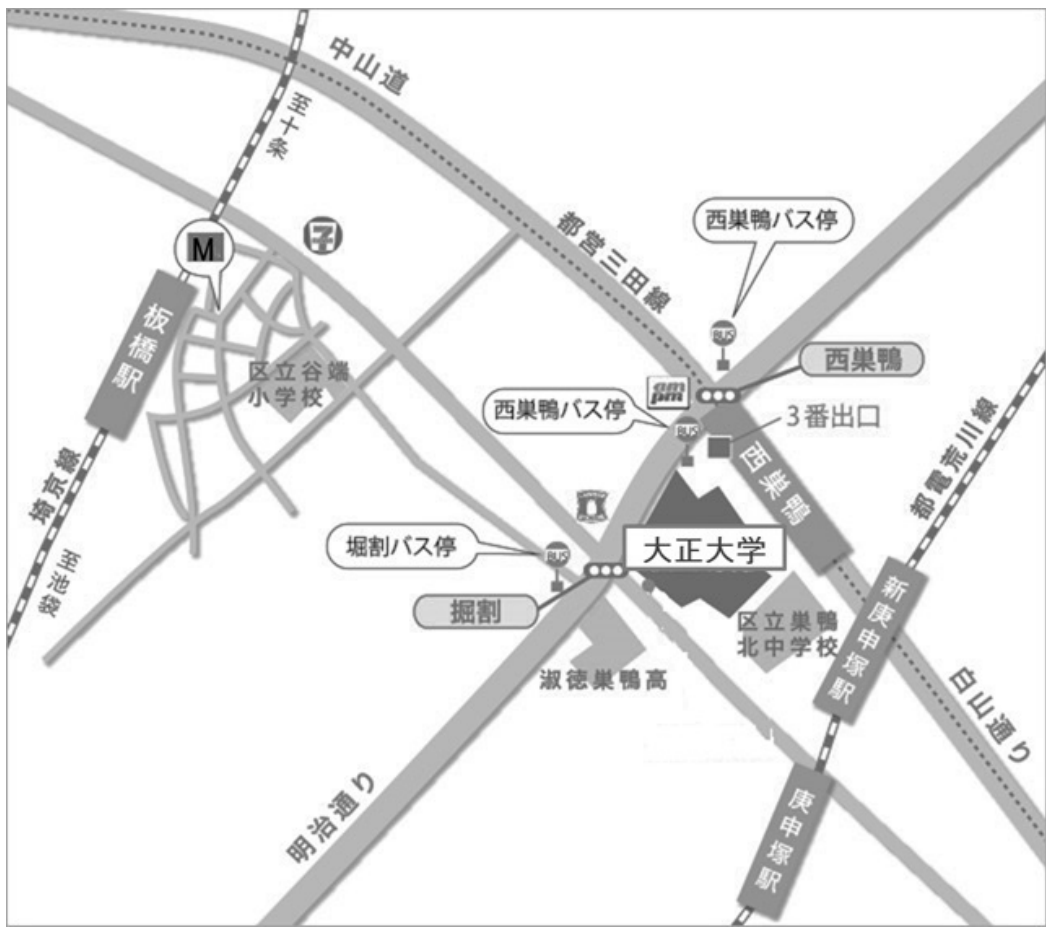
●東京駅から（約 30 分）

- ・ JR 山手線⇒巣鴨（都営三田線乗換）
⇒西巣鴨駅下車 徒歩 2 分
- ・ JR 埼京線の場合・・・板橋駅東口下車 徒歩 10 分
- ・ 都電荒川線の場合・・・庚申塚駅又は新庚申塚駅下車 徒歩 7 分

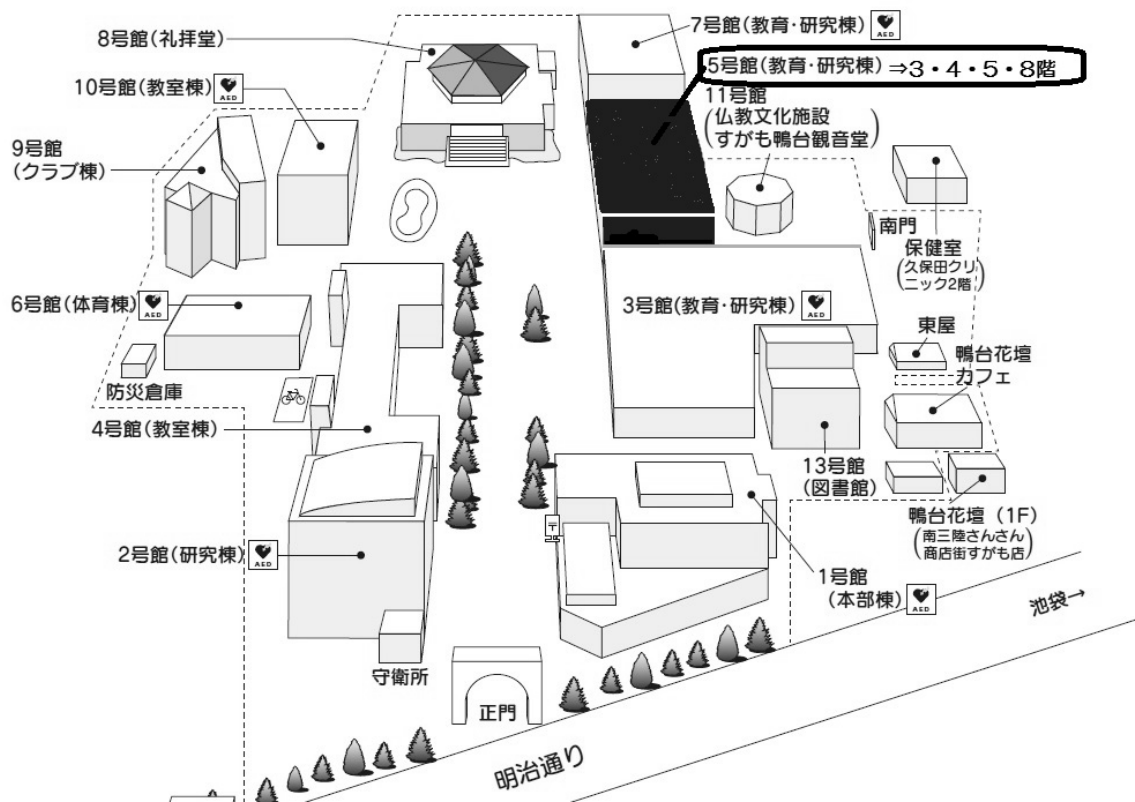
バスご利用の場合

●池袋駅東口から都バス・・・堀割バス停下車 徒歩 2 分

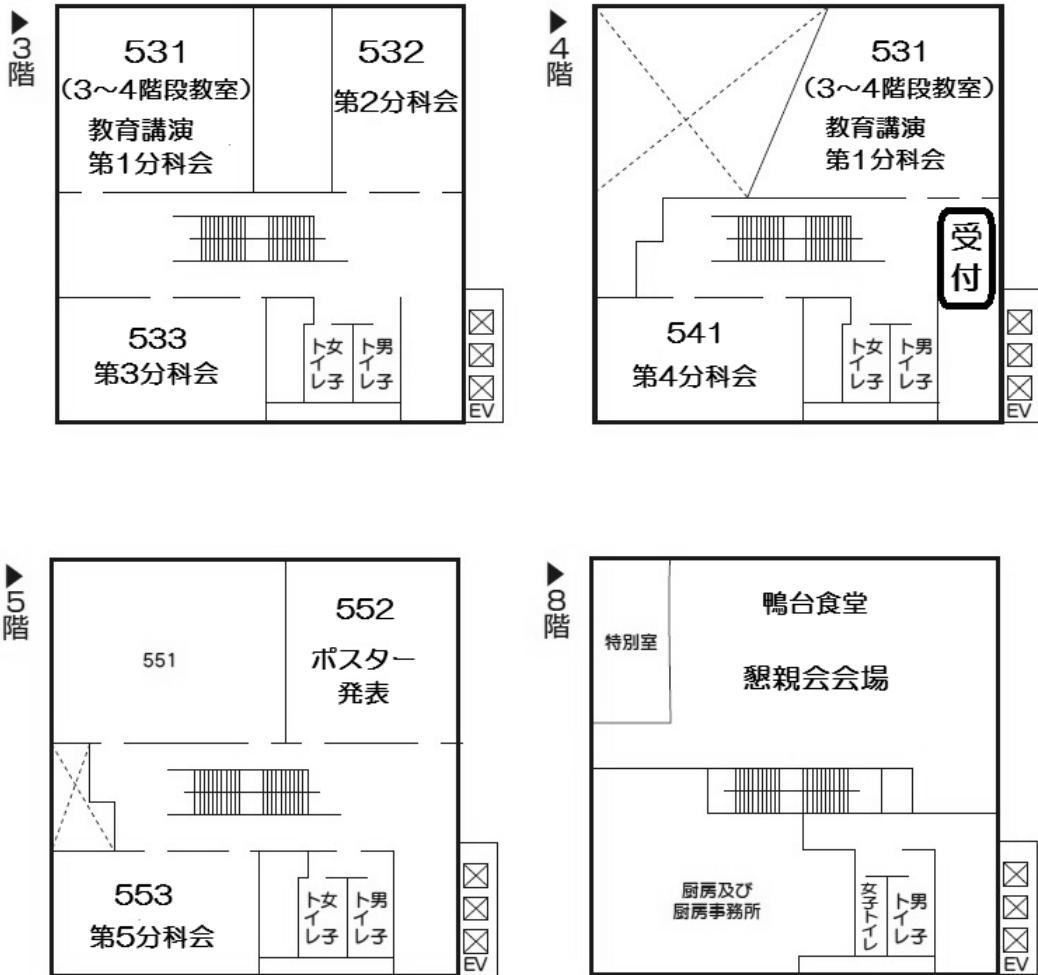
- ・ 6 番乗り場 西新井駅前・北車庫前行き・新田一丁目行き
- ・ 7 番乗り場 浅草雷門南行き
- ・ 12 番乗り場 とげぬき地藏前行き
- ・ 13 番乗り場 浅草寿町行き



構内案内【大正大学 巢鴨校舎】



会場配置図



会場案内

5号館 教育・研究棟 3・4・5階

- ・受付 (4階 531 教室前) 【12:00~】
- ・教育講演 I (4階 531 教室) 【12:40~13:40】
- ・教育講演 II (4階 531 教室) 【13:50~14:50】
- ・各種分科会 (3階 531,532,533, 4階 541, 5階 553 教室) 【15:00~17:00】
- ・ポスター発表 A・B (5階 552 教室) 【掲示 15:00~17:00 ; 在席 16:00~17:00】

8階 鴨台食堂

- ・懇親会 【17:30~19:00】

参加者へのご案内

I 受付

1. 大会期間中は受付でお渡しする参加章（氏名・所属を記入したもの）をお付けください。
参加章は大会参加費の受領証を兼ねています。

2. 受付場所は教育講演会場（5号館4階531教室）前です。
受付間は12:00からです。

3. 参加費等は以下の通りです。

参加費：事前申込の場合 3,000円(11/30まで)

当日参加の場合 3,500円

（いずれの参加費にも論文集代が含まれます。論文集は当日受付でお渡します。）

発表費：1演題あたり 1,000円

懇親会参加費：事前申込の場合 3,000円(11/30まで)

当日申込の場合 4,000円

※事前申込の方は予め指定先にお振込み下さい
(12/1まで)

※当日参加の方は受付でお支払いください。

	事前申込 (11/30まで)	当日参加
参加費	3,000円	3,500円
発表費	1,000円	—
懇親会費	3,000円	4,000円

II 会場関係

1. 喫煙

喫煙：大正大学の構内では分煙措置を実施しております。

喫煙は建物外の喫煙指定場所をお願いします。

（喫煙場は1号館裏・10号館裏の2箇所）

2. 駐車場

駐車スペースは限られておりますので、お車でのお越しはご遠慮ください。

III 懇親会

各分科会・ポスター発表終了後の17:30から5号館 教育・研究棟8階（鴨台食堂）にて行います。懇親会は当日も参加受付をしますが、人数に限りがありますので、できるだけ事前に お申込みください。

参加費は3,000円です（当日参加の場合4,000円になります）。

IV 連絡先

会期前、会期中ともに、大会準備委員会（実施本部）への連絡は下記まで、電子メールまたはFAX(会期中を除く)でお願いします。実施本部では、常にメールチェックをおこないません。

日本発達障害支援システム学会 2015 年度大会準備委員会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学教育実践研究支援センター内

FAX 042-329-7678

電子メール jasssdd*u-gakugei.ac.jp

(*の部分を半角の@に置き換えて送信してください)

研究発表者へのご案内

【口頭発表】

1. 発表時間

- 1) 発表時間は1発表につき15分で、質疑応答の時間3分が含まれます。
- 2) ご自身の発表時間以外は、他の分科会場やポスター会場にいらっしゃっても構いません。但し、学会場から出てしまうことはご遠慮下さい。終了時刻の17:00まではご参加頂くことが義務づけられます。
- 3) 進行係が以下のように時間経過をお知らせします。

発表開始後10分：1鈴

12分：2鈴(発表終了)

15分：3鈴(質疑応答終了・交替)

2. 発表用機器

発表にパソコンを使用する方は、発表データを USB 接続フラッシュメモリに保存し、セッション開始前までに会場にお越し下さい。パソコンは、Windows 7 (パワーポイント 2010) を用意いたします。なお、Macintosh 版データや動画などが含まれるデータは、映像に支障をきたす場合がありますので、パソコンをご持参下さい。

(プロジェクトとの接続には、標準的なミニ D-SUB15 端子 (アナログ) を使用します)。

3. 座長の方へ

- 1) 座長の方は担当セッションの司会・進行をお願い致します。特に制限時間を厳守するようにお願い致します。
- 2) 各セッションに2名の座長をお願いしています。欠席の場合には新たに座長を決定しますので、前日までに E-mail にて大会準備委員会に必ずご連絡ください。

4. 質疑・討論について

質疑や意見を述べる際には、はじめに所属・氏名を明らかにしてください。

また、30秒以内に簡潔にお願いします。その他、座長の指示に従って、セッションの進行に支障がないようにしてください。

5. その他

- 1) 座長及び発表者は、セッション開始5分前までに当該分科会場に在席してください。
- 2) 研究発表の資料は発表論文集をあてるのが原則ですが、補足資料の配布が必要な場合には、事前に発表者が必要部数を用意し、各会場の資料配布台に置いてください。

【ポスター発表】

1. 発表者は、発表時間中ポスターを掲示すると同時に指定された時間出席し、参加者と質疑応答することにより、正式発表とみなされます。
2. 発表者は、総合受付にて発表受付を済ませ、発表開始5分前までにポスターの掲示を完了してください。
3. 掲示時間は15:00～17:00、在席責任時間は16:00～17:00です。ポスターは壁またはパーテーションに掲示してください。
4. ポスター掲示範囲は横幅80cm×縦150cm以内が適当です。ポスターの最上部には、発表題目(フォントサイズ目安:72ポイント)、発表者氏名(筆頭発表者に○を付ける)、及び所属を明示してください。本文は全紙、または何枚かに分けて貼る等の方法で掲示してください。文字の大きさや図、表の作成には特に注意してください。混み入った図や表の使用を避け、2m離れたところから全体を読めるようにしてください。
5. 掲示用のセロハンテープ・押しピン等は会場内に用意してあります。
6. 当日資料を配布される方は、各自で必要部数を用意し、配布してください。個人情報との関係で、資料回収を必要とする場合は、発表者が責任をもって回収、処分してください。
7. 発表時間が終了したら、直ちにポスターを撤去してください。

大会スケジュール

12月11日(日)

会場 5号館	531教室	532教室	533教室	541教室	553教室	552教室
12:00	受付(会場前) 開会					
12:40						
13:40	教育講演 I 講師 近藤 直司 (大正大学教授・ 精神科医)					
13:50						
14:50	教育講演 II 講師 渡部 匡隆 (横浜国立大学 教授・ 附属特別支援学校 校長)					
15:00						
17:00	第1分科会 就労支援 領域	第2分科会 学習支援 ICT活用 領域	第3分科会 生活支援 遊び支援 領域	第4分科会 支援システム 支援者研修 領域	第5分科会 インクルーシブ 保育教育 相談支援 領域	ポスター発表 分科会A・B 掲示: 15:00~17:00 発表者在席: 16:00~17:00
17:30	懇親会 (8階 鴨台食堂)					
19:00						

プログラム案内

＝第1部＝（会場：教育・研究棟4階531教室）

教育講演 I 12:40～13:40

『自閉症スペクトラムと精神科医療』

【講師】

近藤 直司（大正大学教授 精神科医）

【講師プロフィール】

1987年、東海大学 医学部卒業。東海大学医学部附属病院、神奈川県立精神医療センター 芹香病院勤務後、山梨県立精神保健福祉センター 所長（山梨県中央児童相談所、副所長を兼任）、山梨県都留児童相談所 所長、東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科部長を経て、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授の現在に至る。児童・思春期の精神科臨床、精神力動的（精神分析的）な視点に基づいた精神医学・精神科臨床を専門としている。所属学会は日本家族研究・家族療法学会、日本思春期青年期精神医学会、日本児童青年精神医学会、日本精神神経学会、日本精神分析学会など。

【主な著書】

- 2015年 『アセスメント技術を高めるハンドブック 第2版』（明石書店）
- 2014年 『不安障害の子どもたち』共著（合同出版）
- 2014年 『アセスメント技術を深めるハンドブック』（明石書店）
- 2013年 『素行障害 診断と治療のガイドライン』共著（明石書店）
- 2013年 『家族療法テキストブック』共著（金剛出版） etc.

司会：三浦 巧也（大正大学人間学部）

教育講演Ⅱ

13:50～14:50

『自閉症スペクトラムの教育支援』

—現状と今後の課題—

【講師】

渡部 匡隆（横浜国立大学教授 附属特別支援学校校長）

【講師プロフィール】

1984年徳島大学教育学部養護学校教員養成課程卒業後、筑波大学大学院修士課程障害児教育専攻、同大学院博士課程心身障害学研究科で学ぶ。大学院で、自閉症、発達障害のある幼児・児童への指導を経験。その後、愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所で成人期の発達障害のある人への支援を経験。現在、横浜国立大学教育人間科学部特別支援教育講座教授。幼児期から成人期までの主に知的障害を伴わない自閉症スペクトラムのある人への指導・支援に臨床活動を通して取り組んでいる。また、横浜国立大学教育人間科学部附属特別支援学校校長を兼任。博士（心身障害学）。所属学会は日本発達障害学会、日本特殊教育学会、日本行動分析学会など。

【主な著書】

- 2014年 『はじめての特別支援教育-教職を目指す大学生のために』共著(有斐閣)
- 2014年 『6つの領域から支援する自閉症スペクトラムのある子どもの人間関係形成プログラム-自分らしく生きていくために』 共編著(学苑社)
- 2006年 『行動変容法入門』共翻訳(二瓶社)
- 2002年 『入門・発達障害と人権』共翻訳(二瓶社) etc.

司会：菅野 敦（東京学芸大学教育実践研究支援センター）

＝第2部＝

第1分科会 ＝就労支援領域＝(5号館3-4階 531教室)

座長：小島道生(筑波大学)・尾高邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)

- 1-1 『成人期知的障害者の障害福祉サービスにおける一般就労へ向けた支援内容の実態に関する研究』
近藤拓弥、竹井卓也(東京学芸大学教育学研究科)・
今枝史雄(東京学芸大学連合学校教育学研究科)・菅野敦(東京学芸大学)
- 1-2 『成人期発達障害者の就労支援に関する調査研究』
中村奈々(ながやまメンタルクリニック)
- 1-3 『知的障害特別支援学校高等部における卒業後の合理的配慮提供への対応状況について』
宮澤晃尚(静岡県立沼津特別支援学校)・小島道生(筑波大学)
- 1-4 『特別支援学校高等部卒業生の進路先定着・変化の現状』
神立佳明(東京都立あきる野学園)
- 1-5 『知的障がい児・者の職業態度に関する研究(1)』
小笠原拓、岡本孝伸(株式会社ドコモ・プラスハーティ)・伊藤浩(社会福祉法人幸会)
菅野敦(東京学芸大学)
- 1-6 『仕事に向かう自主性を高めるための支援に関する検討』
佐藤資子、川島信敬、横川拓也(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)
- 1-7 『特別支援学校における喫茶店営業』
荻原稔(東京都立青峰学園)

第2分科会 ＝学習支援・ICT活用領域＝(5号館3階 532教室)

座長：爲川雄二(東北大学)・原智彦(東京都立青峰学園)

- 2-1 『職業学科における普通教科の授業改善』
山田智博、栗本みゆき(東京都立南大沢学園)・菅野敦(東京学芸大学)
- 2-2 『進路指導における就業体験を充実させる取り組み』
辻村洋平、原智彦、伴光明(東京都立青峰学園)・羽村龍(輪島市障害者福祉課)
菅野敦(東京学芸大学)
- 2-3 『成人期知的障害者の問題解決能力に関わる知的機能の特徴』
今枝史雄(東京学芸大学連合学校教育学研究科)・菅野敦(東京学芸大学)
- 2-4 『訪問教育に在籍する児童のための慣用的時間概念把握プログラム開発について』
川池順也(東京都立村山特別支援学校)・橋本創一、林安紀子、近藤綾子
(東京学芸大学)・世木秀明(千葉工業大学)

- 2-5 『生徒の自己選択・自己決定を生かす指導法の検討』
 昼間友彦(東京都立南大沢学園)
- 2-6 『知的障害児教育における未来志向のICT活用』
 爲川雄二(東北大学)・齋藤大地(東京学芸大学附属特別支援学校)・海老澤穰
 (東京都立石神井特別支援学校)・糸川美和子(大阪府立和泉支援学校)
 松田孝(小金井市立前原小学校)

第3分科会 =生活支援・遊び支援領域=(5号館3階 533教室)

座長：渡邊貴裕(順天堂大学)・菅野敦(東京学芸大学)

- 3-1 『「今できること」を大切にした生活単元学習の実践』
 本莊建史、外山幸江(東京都立調布特別支援学校)・菅野敦(東京学芸大学)
- 3-2 『知的障害特別支援学校における自由遊びを中心とした「遊びの指導」の検討(2)』
 櫻田佳枝(秋田大学教育学研究科)・武田篤(秋田大学)
- 3-3 『グループホームにおける小遣いの金銭管理支援』
 秋山清恵、金田大志、前川恵理、石橋聡美(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)
- 3-4 『通園施設における幼児の粗大運動アセスメント その2』
 雨宮由紀枝、佐藤麻衣子(日本女子体育大学)・池沢美栄、鈴木美代
 (三鷹市北野ハピネスセンター)・森山剛、原寛徳(東京工芸大学)
 小沢慎治(慶応義塾大学)
- 3-5 『成人期自閉症者への身体機能維持を目的とした活動の提供』
 石井沙耶香、橘昌邦、藤代渉史、守谷奈央子、山崎彰雄、黒川宗孝、辰仁蒼一郎、
 竹内真樹、友野京子、竹下洋久(社会福祉法人湘南の風えいむ)
- 3-6 『成人期知的障害者の自己肯定感を高めるための支援実践』
 山口美範、伊藤浩、大沼美枝(社会福祉法人幸会)
- 3-7 『「進路学習」としてのファッションの授業の試み』
 小林史子、小田部恵、伴光明(東京都立青峰学園)

第4分科会 =支援システム・支援者研修領域=(5号館4階 541教室)

座長：大伴潔(東京学芸大学)・霜田浩信(群馬大学)

- 4-1 『都道府県および政令指定都市における療育手帳の違いについて』
 橋本真緒、伊藤浩(社会福祉法人幸会)

- 4-2 『超高齢脳外傷患者に対し心理的アプローチを行い「選択的最適化とそれによる補償(SOC)」理論で検討した一事例』
景山貴博(鹿野温泉病院)・小林勝年(鳥取大学)
- 4-3 『90年代米国における特殊児童協会幼児部会(DEC)の戦略』
真鍋健(千葉大学)
- 4-4 『肢体不自由特別支援学校の教師に求められる力とは』
宮崎義成、橋本創一、川池順也、柘千晶(東京学芸大学)・熊谷亮(福岡教育大学)
霜田浩信(群馬大学)
- 4-5 『コミュニケーション能力向上のための校内研修プログラム(読み取る能力・協議する能力)』
大本美智子(広島県立呉南特別支援学校)、竹林地毅(広島大学教育学研究科)
- 4-6 『幼稚園教諭研修会における草木染による造形表現の教材研究』
早川礎子(小田原短期大学)

第5分科会 =インクルーシブ保育教育・相談支援領域=

(5号館5階 553教室)

座長：細川かおり(千葉大学)・堂山亜希(埼玉東萌短期大学)

- 5-1 『ダウン症児を含めた複数の障害児が在籍する保育所のクラスにおいてどのように対等な仲間関係を形成するか』
細川かおり(千葉大学)
- 5-2 『障害理解教育における系統的カリキュラムの検討』
山田真幸、印南勇佑、深澤亮介、米田翼、吉田竜太郎、宮本舞花
(学校法人 武蔵野東学園)
- 5-3 『発達障害児の援助要請行動に関する研究』
杉岡千宏(あきやまこどもクリニック)
- 5-4 『学習につまずきのある小1児童に関する調査研究』
杉浦采夏(ことばのいずみ教室)
- 5-5 『東京都島しょ地区の学校における発達障害等への支援』
諏訪肇(東京都中部学校経営支援センター)・
河野文子(筑波大附属桐が丘特別支援学校)
- 5-6 『支援依頼から考察する発達障害地域支援マネージャーの今後の在り方について』
小林倫、菊池一美(社会福祉法人湘南の風)
- 5-7 『小学校の特別支援学級教員による配慮が必要な保護者への対応に関する検討』
柘千晶(東京学芸大学連合学校教育学研究科)・橋本創一、大伴潔(東京学芸大学)

ポスター発表分科会 A (5号館5階 552教室)

座長：三浦巧也(大正大学)

- PA-1 『ユニバーサルデザインに関する研修が小中学校教員の支援立案に及ぼす効果の検討』
脇貴典(山口大学大学院)
- PA-2 『「心と行動の問題」における中学校の早期対応と連携に関する調査研究』
久木田裕紀(東京学芸大学教育学研究科)・林安紀子(東京学芸大学)・三浦巧也(大正大学)
熊谷亮、柘千晶(東京学芸大学連合学校教育学研究科)
- PA-3 『自閉症スペクトラム障害を伴う成人期重度知的障害者における絵カードと
その内容のマッチングに対する支援実践』
丸山耕太郎・増田沙織、鈴木麻椰(社会福祉法人龍鳳ライフパートナーこぶし)
伊藤浩(社会福祉法人幸会)
- PA-4 『知的障害児における音楽的介入効果の観察項目と定量化の試み』
大澤ちづる(東京学芸大学教育学研究科)・林安紀子(東京学芸大学)
- PA-5 『知的障害児に対するアニマルセラピーの有効性に関する研究』
高橋里穂(千葉特別支援学校)・細川かおり(千葉大学)・
吉田圭祐(千葉大学教育学研究科)
- PA-6 『成人期重度知的障害者に対する動作法を通じた触覚過敏へのアプローチ』
坂口麻衣子、矢部帆乃、丸山耕太郎(社会福祉法人龍鳳)・伊藤浩(社会福祉法人幸会)
- PA-7 『戦前における知的障害児施設での生活と教科の関連について』
本光侑(東京学芸大学教育学研究科)・菅野敦(東京学芸大学)

ポスター発表分科会 B (5号館5階 552教室)

座長：伊藤浩(社会福祉法人幸会)

- PB-1 『知的障がい児・者の職業態度に関する研究(2)』
伊藤浩、松本咲子(社会福祉法人幸会)・小笠原拓、岡本孝伸
(株式会社ドコモ・プラスハーティ)・菅野敦(東京学芸大学)
- PB-2 『知的障がい児・者の職業態度に関する研究(3)』
松本咲子、伊藤浩(社会福祉法人幸会)・小笠原拓、岡本孝伸
(株式会社ドコモ・プラスハーティ)・菅野敦(東京学芸大学)
- PB-3 『知的障害のある方の働く力の向上に向けた取り組み』
照沼潤二(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)
- PB-4 『A 特別支援学校における「地域支援講座」10年間の成果と課題』
西井孝明(三重県立稲葉特別支援学校)

- PB-5 『職業リハビリテーションで用いられる「自己理解の支援」についての文献研究』
前原和明(障害者職業総合センター)
- PB-6 『通園施設における年度内のグループ移行の取り組み』
池沢美栄、西谷聡子(三鷹市北野ハビネスセンターくるみ幼稚園)・菅野敦(東京学芸大学)
- PB-7 『生活指導から課題学習へ』
鈴木美代、池沢美栄(三鷹市北野ハビネスセンターくるみ幼稚園)・菅野敦(東京学芸大学)
- PB-8 『話しことばの聴覚的理解能力の発達的变化に関する研究』
古島時夫(東京学芸大学教育学研究科)・林安紀子(東京学芸大学)

2016年度 研究セミナー・研究大会

大会実行委員会

- 実行委員長 三浦 巧也 (大正大学)
- 事務局長 渡邊 貴裕 (順天堂大学)
- 実行委員 伊藤 浩 (社会福祉法人 幸会)
- (五十音順) 今枝 史雄 (東京学芸大学)
- 大伴 潔 (東京学芸大学)
- 尾高 邦生 (東京学芸大学附属特別支援学校)
- 川池 順也 (東京都立村山特別支援学校)
- 菅野 敦 (東京学芸大学)
- 霜田 浩信 (群馬大学)
- 田口 禎子 (目白大学)
- 爲川 雄二 (東北大学)
- 堂山 亞希 (埼玉東萌短期大学)
- 橋本 創一 (東京学芸大学)
- 林 安紀子 (東京学芸大学)
- 細川 かおり (千葉大学)
- 大会事務局 栢 千晶 (東京学芸大学)
- 西村 裕子(日本発達障害支援システム学会事務局)

<大会会場>

大正大学 巣鴨キャンパス

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1

<大会事務局>

日本発達障害支援システム学会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 (東京学芸大学教育実践研究支援センター内)

E-mail : office@jasssdd.org

Homepage : <http://www.jasssdd.org>